

炭素の森プロジェクト



- 私たちにもできる 炭素の排出削減 - やろう！未来の子どもたちのために

炭素の森プロジェクトとは？

木の家は、炭素を蓄えた木材がたっぷりの「炭素の森」。廃棄せずに活用し、その味わいととも生きることが未来の子どもたちに豊かな環境と特色ある地域を残すこととなります。

たとえば 木造の古民家1棟を壊し、焼却すると 14,337kg もの二酸化炭素が発生します。

これを1年間で吸収するには、1303本の木が必要です。*

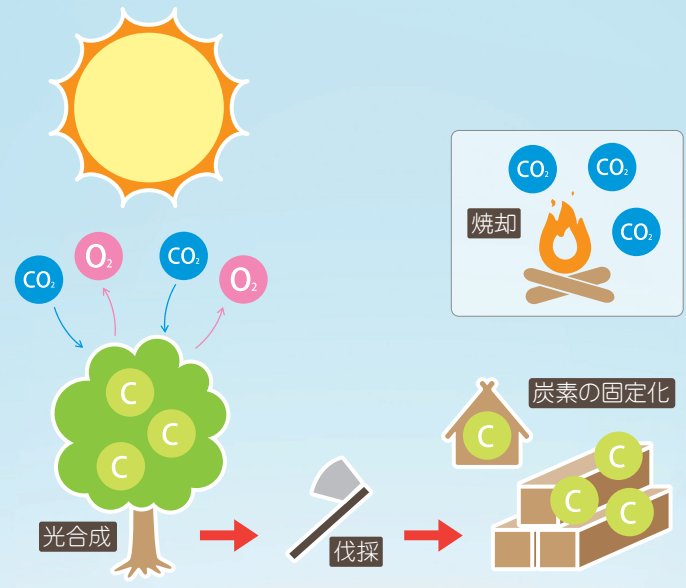
現存する古民家 280万棟をすべて再活用すると、36億 4840万本もの木の1年間の二酸化炭素吸収量に相当します。

この取り組みを通じ、1人でも多くの方に炭素の固定化の必要性に気がついていただきたいと考え実施している運動です。

*ブナの木的光合成における二酸化炭素吸収量を参考に計算した場合。

炭素の排出削減

少しでも炭素を固定化へ



私たちは…

再利用可能な自然素材（伝統資財）を活用し、炭素の固定化に努め自然環境に優しい活動を推進しています。

 **循環型建築ネットワーク** 未来の子どもたちのために 持続可能な循環型建築社会の実現へ
produced by Aesthetics Japan co.,Ltd